

1 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録 （ 要 点 ）

| | |
|---------------|--|
| 日 時 | 令和 7 年 1 月 27 日（月）午後 2 時 00 分 |
| 場 所 | 庁舎第 3 別館 2 階 会議室 |
| 出席委員 | 教育長 小澤和樹、委員 山本泰正、委員 長井俊朗 委員 竹田美和、委員 野間真美 |
| 会議に出席した者の職・氏名 | 副教育長 鳥生敬二、教育政策局長 波頭健 教育大綱推進課長 鳥生幸司、学校教育課長 井上洋 学校給食課長 清水恵蔵、生涯学習課長補佐 渡邊雅人、 教育大綱推進課長補佐 崎山憲一、早川教育大綱推進課長補佐、 中辻学校教育課長補佐 |
| 傍聴人 | なし |
| 議事日程 | <ol style="list-style-type: none"> 1 12 月教育委員会会議録の承認 2 会議録署名委員の指名 3 教育長報告 4 議題 <ul style="list-style-type: none"> 議案第 1 号 令和 7 年度学校教育の重点方針について 議案第 2 号 今治市教育情報セキュリティポリシー（対策基準）の改訂について 議案第 3 号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第 4 号 今治市美須賀コミュニティプラザ運営審議会委員の委嘱について 議案第 5 号 今治市開発総合センター運営審議会委員の委嘱について その他報告 1 今治市立夢づくり調理場における調理・洗浄業務等委託の契約候補者決定について <p>午後 2 時 00 分、開会を宣す</p> |
| 小澤教育長 | 日程番号 1、12 月定例教育委員会の会議録を承認してよいか問う |
| —各委員— | 承認する |
| 小澤教育長 | 日程番号 2、会議録の署名委員に、竹田委員、野間委員を指名する。 |

| | |
|----------|---|
| | 日程番号3、教育長報告を行う |
| | 質疑がないか問う |
| —各委員— | 質疑なし |
| 小澤教育長 | 議事に入る前に「議案第2号 今治市教育情報セキュリティポリシー（対策基準）の改訂について」を、今治市教育委員会会議規則第11条に基づき、提案資料資料2「今治市教育情報セキュリティポリシー（対策基準案）」、参考資料3「今治市教育情報セキュリティポリシーの改正点」及び会議内容を非公開として審議することについて問う。 |
| —各委員— | 異議なし |
| 小澤教育長 | 「議案第2号 今治市教育情報セキュリティポリシー（対策基準）の改訂について」は、今治市教育委員会会議規則第11条に基づき、提案資料資料2「今治市教育情報セキュリティポリシー（対策基準案）」、参考資料3「今治市教育情報セキュリティポリシーの改正点」及び会議内容を非公開で審議する。 |
| | <p><議題審議></p> <p>「議案第1号 令和7年度学校教育の重点方針について」説明を求める</p> |
| 井上学校教育課長 | —「議案第1号 令和7年度学校教育の重点方針について」説明— |
| 小澤教育長 | 質疑はないか問う |
| 山本委員 | <p>重点方針のまとめ方については、今までもいろいろ議論してきましたが、その中でやらなければならない必須項目を工夫して入れていることについて一定の評価をしたいと思います。</p> <p>重点方針1のふるさとキャリア教育の概念ですが、文科省からも、事業先に訪問すること、それをもってキャリア教育というふうに決めつけたような運用はいけませんよという注意喚起があったように記憶しています。キャリア教育は、もっと広く深い意味合いがあると私は認識しています。もともとこの重点方針は誰に向けて出すのかを考えないといけないと思います。当然それは</p> |

先生方で、校長先生の学校マネジメントに寄与するために、今治市教育委員会は今治市の方針に沿って、こういう施策を今まで展開してきました。令和7年度はこういう方向でいきますということを発信する役割があると考えています。そうしたら、その方々に誤解を招かないように指導していくことが教育委員会の使命だろうと思います。その意味合いでいくと、ちょっと語彙の使い方を検討した方が良いのではないかと思います。

もう一つは、学校の現場で先生は、今の教育に対する自分の保有能力をアップデートしていかなければならず、その必要性も相当持っていていただいていると認識しています。そうしたら先生には、できるだけ生徒と向き合う時間を作ることと、加えて勉強して指導力を上げていく時間を作ってあげなければならない。すなわち働き方改革そのものだと思います。そのような内容は、この重点方針にも入っていますが、教育現場に説明するとき、教育委員会としても、施策の中で展開していくことを、具体的に強調して通知することが必要ではないかと思います。私の今までの経験上、文書を発信するときには、現場はこの文書を読んでどう反応するか。そのことをいつも念頭に置きながら発信してきたつもりです。そのように、より一層してもらえたらと思います。

小澤教育長

キャリア教育につきましては、以前も山本委員からご指摘いただきました。中学校卒業後の進学を決めること、職業をよく知ることだけがキャリア教育ではない、より良い生き方を見つけるために、どのようなたくましい力や生きる力を身につけていくかということ、学校教育全体で行っていくことを心得て取り組んでいく必要があると考えています。

働き方改革については、業務改善により、先生が子どもたちに向き合う時間を確保していくことは、これからも継続して取り組んでいく必要があると思います。学校の先生は時間ができると自分の時間をすべて子どもに向き合う時間に向ける方が少なくないと思います。そのためあわせて自分の時間を充実させること、様々な地域の方に関わること、読書や旅行とかの趣味の時間が、私見や色々な考え方を広げ、ひいては関わる子どもたちに良い影響を与えることに繋がることも、校長会や教頭会から各学校に伝えていただいて、教職員ひとりひとりの人間力を豊かにすることが、子どもたちの教育に良い影響を与えるのではと思っています。今後ともそういったことに取り組んでまいりたいと思います。

山本委員

以前話した英検3級のことの確認させてください。確か中学3年生の英検取得率の全国平均が50%だったと思います。今治市は

それに対して目標をもう少し低いように立てていたと思います。

英検 3 級や世界基準CEFRの A の取得目標をどれぐらいのところに置いているのか。ちなみに、トップのさいたま市では中 3 で英検 3 級ないし CEFR の A を取っている生徒が 88% を超えています。全国平均も毎年上がっている。そういったところで、課長から聞いた数字と相当乖離があるので、目標値を上げるだけでは駄目で、どう到達するかの道筋を合わせて決めておかなければならないと思います。

市長も今度の選挙のことで各地回られており、私もその話を聞きに行きました。この外国語教育については、相当力を入れているように私は感じております。英検の記述はこの表現だけでいいのかなと少し気になりました。

野間委員

さいたま市の英語教育が注目されていますので、今治市も取り組んだらどうかと思い、元さいたま市教育長細田さんの「世界基準の英語力」の本を以前読みました。最初はすごい取り組みで良いと思いましたが、今治に取り入れてみたらと考えると、ここまで高い目標にしすぎるのは、教員の負担も含め必ずしも今治市の現状に合うわけではないとも思いました。英検 3 級を取るのは、あくまでもきっかけだと思います。正解主義の教育を見直すようになってきていることも、きちんと考えないといけないと思います。私を含め、教育委員は教育の専門家だけが集まるわけでもないもので、その上で、一人一人がいろいろな意見があるとわかることが一番 大事だと思います。皆さんと活発に話をしていきたいと思います。

山本委員

さいたま市の話は事例紹介であり、それを真似して目標にという話ではないです。今治市が全国平均より下の目標を立てているようでは駄目ではないかということです。今治市の目標は何%でしたか。

野間委員

今治の目標は平均よりも高くて安心した記憶があります。

竹田委員

以前に、令和 9 年までにスタディサプリ利用で、今は 45% だけど、60% をめざすと説明がありました。

山本委員

野間委員がおっしゃったように、我々教育委員は、これまでのキャリアをベースにして市長に選ばれている委員なので、教育の専門家ではないし、そのことを前提にして十分に話をして意見を出せば良いと思います。

合議で決議するところなので、お互いに研鑽し教育の見識は

磨いていかなければならないけれど、できるだけ意見を出し合う様子をオープンにしてもらうことが良いと思います。

小澤教育長

昨年12月にF C今治里山高校で、スタンフォード大学の教授から、高校生に課題が与えられ、そのミッションを解決するためにどうしていくかを英語で答える会がありました。F C今治里山高校だけでなく、市内の県立学校の生徒も参加し、英語で皆さん明るく元気に参加していました。英語を知っていると多様な文化に触れられたり、様々な所に行ったりでき、そういう良さもあるという話をその時にしました。今治の子どもたちも、英語力を身につけることにより、より良く、たくましく生きていくことに繋がるのではないかと思います。

市長の肝煎りである今年度の英語力の向上については、いろいろな施策を通じて行っています。ただ、知識理解だけでなく、この1月末にも県立高校の入試が特色選抜になりまして、これまでどういった取り組みをしたか、自分がどういった人になって何をしたいかを評価するもので、大学入試についてもAO選抜の割合が増えてきています。表現力や自分自身の人間力とかを試される時代になっていますので、この英語力も、あくまでもそういった生きる力をつける一つのツールであると捉えて、これからも取り組んでいく必要があると思います。

先ほどの英検の件について他に何か補足する情報ありますか。

中辻学校教育課長補佐

2027年度までに県の目標値として60%、今年度の目標値は52.5%、来年25年度までに55%、2026年度までが57.5%、最終2027年度が60%という目標設定です。

小澤教育長

英検受験については支援していく方向でいます。受験者が増え、その結果が自身にとって良かったと思えることでまた繋がっていく、その結果として目標値が達成できたらいいかんと思っています。

野間委員

先日の総合教育会議でも思ったのですが、教育委員会として、イングリッシュキャンプや英検受験の促進等を言っている反面、先生の働き方改革という視点では、負担になっていないかという葛藤があります。現場の先生方はどのようなご意見を持っているのでしょうか。負担にならないよう事務の方を雇用するとか対策はあるのでしょうか。

井上学校教育課長

業務量を増やすことは、働き方改革には難しい部分があると

思います。英検は現在、学校で受験していますから、その環境自体を変えることはないと思うのですが、英検受験補助をどのように実施できるかはこれからです。できるだけ教師の業務量や負担の増加にならないように事務の効率化についてはICTを使いながら工夫した取組を検討していかなければならないと思います。

山本委員

統合型校務支援システムのことについてです。令和6年度から統合型校務支援システムをクラウドで対応するという説明を受けています。でも今までその話はないです。政府からは令和7年度を最終年度として、学校の高速度情報システムのギガ数が学校別にどれくらい通信速度が必要ですよということが、文部科学省から一昨年4月に調査をされ8月に報告が出ました。その時に私は今治市の状況を確認しました。そうしたら今治市の場合は大丈夫だということでしたから、それ以上は言っていないけれど、その時にクラウドでない校務支援システムは、クラウドになったときには使えないと理解しています。だから、そういうことについても、校務支援システムが、いつからどのようになるかという仕事の仕方の変容を確認せずには、なかなか課長が言われるようなことは出来ないと思っています。

クラウドを地方自治体が入れるとしたらパブリックだろうと思います。そのパブリックを入れるときに問題なのは、セキュリティ対策がどれだけできているかがポイントになってくると思います。具体的には、ISMAPの認定基準をとっているかがクラウドを入れるときのキーポイントになります。これを満たしていれば国際基準で国が認められたクラウドと理解しています。だからそういうポイントを押さえてなかったら危ない。クラウドも色々あるので、先ほどのポイントをベースにして入れたら、学務系の成績のことや、保健系、学校の事務系、様々な校務支援のシステムがクラウドで稼働できるようになります。ポイントはISMAP。これを取っているかどうかです。

竹田委員

重点方針「誰一人取り残すことのない学びの実現」の施策8で、フリースクール等との連携を密とするとともに、補助金、居場所づくり等と書いてあります。補助金とは、フリースクールに通う子どもに対しての補助金のことですか。

鳥生副教育長

フリースクールに行っている使用料で保護者に対しての補助を計画しております。

竹田委員

英検のところでは、英語検定補助とわかりやすく書いてあり

ます。ここでの補助金とは保護者への補助なのか、フリースクールへの補助なのかわかりにくいので、保護者に対しての補助金とわかる文言になると良いと思いました。

もう1点、今、娘が通っている学校では、オンライン授業で5教科全部を受けられるようになっていています。受けるにあたって顔出しをする、その授業のノートを後日先生に提出するという条件のもと授業は出席扱いとなっています。このことについて市内全部の小中学校で同様になっていなければ良くないと思います。全校でしているかもしれないですが、導入している学校を見本にするなど統一を図ってもらえたらと思います。

小澤教育長

以前も竹田委員が出欠連絡でマチコミを利用することをおっしゃっていて、今回のオンラインで5教科の授業をしていることも素晴らしいことだと思います。良いことですので、横展開できるよう紹介していきたいと思います。

野間委員

学校によって違うので良いのでしょうか。元保護者として思う事は、自分の子どもが行っている学校でないのはやるせない気持ちになります。公立の学校は、極力公平であるものだと思います。

井上学校教育課長

オンライン授業を全く同じ条件・状況で受けられるかは難しいと思うけれども、大筋で公立41校の学校で同等にはできると考えております。同等程度でないと不公平感を感じると思いますので、校長会、教頭会、教務主任会などの場で、伝達・紹介して、子どもたちが学ぶ、平等に評価される、そういう場を作っていきたいと思います。

野間委員

昨日、以前いただいた資料で学校別の生徒数とクラス数、中学校の教科担当の先生の数などを見ていました。学校の規模によって、複数の教科を持っている先生がいるなど大変さもあることがわかりました。一概にまとめるのは難しい事は先ほどの説明で理解できましたが、なるべく、より良くなる方向に話を進めてもらいたいと思います。

小澤教育長

どういったことを発信するかは、学校によって、どういうニーズに応えるかということになると思います。親御さんの思いや子どもの状況に応じて、必要な対応は今後もしていく必要があるかと思います。

校長会や教頭会もありますが、急を要するときには直接学校に連絡する等の対応が必要かと思います。

竹田委員

サポートルームの件です。年度始めはどの学校にもサポートルーム専任の先生がついていたと思いますが、体調を崩されるなど途中で退職されたりする学校もあるようです。サポートルームに専任の先生がいないことで騒がしくなったり、学校の規律が守れなかったりする学校が出てきていることを耳にします。人員確保の話になるので、今すぐにはいかないと思いますが、極力サポートルームに専任の先生がいた方が良いのでお願いしたいと思います。

小澤教育長

原則はそういうことです。サポートルームの質の向上という意味で、まず学校でその状況を保護者、先生と情報共有して、その実態を教員、教頭、校長が把握して対応していくことが必要だと思います。そういった必要なところは、学校に保護者からも要望していただきたいと思います。それでも難しい状況になったときには、教育委員会も一緒に支援に関わる関係性が大事になってくると思いますので、必要に応じて、積極的に学校と連絡を取り合い連携をとることが大切になってくると思います。

井上学校教育課長

現在、教員OBや、地域の方など、教育に理解のある方に支援いただいている現状です。すべての学校に満度に支援いただいている状態でなく、数校は支援員が入っていません。そこは学校の教員がフォローしながら子どもたちを支援しているのが現状であります。

校長会や教頭会でも、もしそういった人材がいてマッチングできるのであれば、こちらに連絡いただけたらとお願いしています。できる限り子どもたちの支援に努めることができたらと思っております。

山本委員

先ほどの私の発言について整理すると、以前、全体の構図が十分にわかってない現状の中、高速通信環境を引いていることに、私は疑念があったから、オーバースペックという言葉を使って大丈夫ですかと確認しました。そうしたら大丈夫だということでしたから、それ以上の話はしませんでした。

その当時、文部科学省がこれからやろうとすることに対応できるだけの速度を確保できているのは全国調査で21.6%だということでした。

文部科学省は、来年度の終わりまでに、この高速ネットワークを完遂すると言っています。予算措置もするし、文部科学省、デジタル省、総務省の大臣名で通信4団体に対して要請文を出

しています。

そういう状況の中で、LANを入れて、いろんな機能を展開させても大丈夫だという事を確認しておいてください。

鳥生教育大綱推進課長

ネットワークの通信の量のことだと思うのですけれども。

山本委員

速度と量です。分かり難いので、私は、交通の車と道路だと教えてもらいました。道路も様々ありますが、光ファイバーが高速道路だとすると、高速道路を走るときに、車線が一本か、追い越し車線が何本もあるのか。円滑に通行するなら車線数が必要です。それと高速道路から出入りする際のインターチェンジが何個あるか。100 km/hで走ってたくさん車線があっても、出口が1つや2つしかなければ詰まってしまう。この話を聞いて私はなるほどと思いました。ネットワークが全部すっと通るようになっているのですかという質問です。

野間委員

今治市で問題はありますか。

山本委員

今の学校はオンプレミスで対応していて、クラウドを入れていないから対応ができるので、今までも説明があったように、プロバイダーのシステムが貧弱なんでクラウドで対応できるように今改善している話は聞いています。常にそのことを頭に入れてなかったら、どんなに良いものを頭で描いてもシステムが動きません。

野間委員

それは文部科学省の指導で、市のレベルはまちまちだから県が主導するという事になったのではないですか。

鳥生教育大綱推進課長

そもそもそういう大きなデータをやりとりするようなサービスが今治市には存在していません。そして、私どもの方で今は大丈夫というお答えをさせてもらったところですけども、それは今の使い方という意味です。

山本委員

以前は、文部科学省が求めていることに対して対応できているのですかと言ったら大丈夫だと聞きました。

早川教育大綱推進課長補佐

山本委員に心配いただいている通信の話ですが、今の運用上、先ほど課長も申し上げた通り、問題は出てないと認識しております。その上で、お話いただいた全国調査21%の話でいきますと、今治市においても、やはり大きい学校については国の目標に達していないという数値が出ています。それに対する対

| | |
|--------------|--|
| | <p>応方法・調査等を行っており、通信事業者から来年度新しいサービスを今治市においても一部提供を始める情報を得ていて注視しているところです。</p> <p>それから野間委員がおっしゃっていた校務支援システムに関しましては、共同調達を前提として、26年度以降から随時切り換えをしていく文部科学省の方針が出たという話を以前させていただきました。</p> |
| 山本委員 | <p>話の座標軸が違ってきます。自分は、文部科学省が調査したことに対して、今治市はどうなのですかと質問しています。今この話でしたら対応する通信速度の確保はできてないのですね。</p> |
| 早川教育大綱推進課長補佐 | <p>文部科学省の調査に対する目標値に対して、できていないところが多々ございます。</p> |
| 山本委員 | <p>今度入れようとする通信はどうなのですか。</p> |
| 早川教育大綱推進課長補佐 | <p>今回入れようとしているものは、クラウドにデータの保存エリアを移して、マイクロソフトのサービスを活用してそちらの方にデータを移行しようとしているところです。通信そのものではございません。</p> <p>通信につきましては、提供事業者から新しい通信速度のサービスの提供が始まるという情報をいただいているので、そちらの情報を得ながら対応していきたいと考えているところです。</p> |
| 山本委員 | <p>それと、クラウド対応のシステムは、国際基準のISMAPの認定を受けているかチェックしていないのですか。多分基準はクリアできていると思うのですが、セキュリティーが、国の認定をクリアしていることは、最低限守らなければいけない事項ですよ。</p> |
| 早川教育大綱推進課長補佐 | <p>確認してなかったのですが、先ほどホームページを見たところ、まず問題ないと思っております。改めて確認させていただきます。その上で、今後の話として、校務支援システムのクラウド化に対する事業者の情報は、今現在持っておりません。今後の調査ということでご理解いただけたらと思います。</p> |
| 小澤教育長 | <p>他に質疑はないか問う</p> |
| —各委員— | <p>なし</p> |

| | |
|------------|---|
| 小澤教育長 | <p>様々なご意見をいただきました。</p> <p>学校教育の重点方針の中の内容等については、今後どのようにしましょうか。ご指摘いただいた内容等もごぞいます。</p> |
| 山本委員 | <p>私の言ったことはあくまでも意見であり要望ではないのでそのように認識しておいてください。</p> |
| 鳥生副教育長 | <p>学校教育の重点方針につきまして、ご意見がありました様々な表現、それから表現が入っていないところは修正させていただきます。</p> |
| 小澤教育長 | <p>本日の意見を踏まえ表記を追加・修正したものを承認してよいか問う</p> |
| —各委員— | <p>承認する</p> |
| 小澤教育長 | <p>「議案第2号 今治市教育情報セキュリティポリシー（対策基準）の改訂について」説明を求める</p> <p>—【非公開】—</p> |
| 鳥生教育大綱推進課長 | <p>—「議案第2号 今治市教育情報セキュリティポリシー（対策基準）の改訂について」説明—</p> <p>—【原案のとおり承認】—</p> |
| 小澤教育長 | <p>「議案第3号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」、「議案第4号 今治市美須賀コミュニティプラザ運営審議会委員の委嘱について」、「議案第5号 今治市開発総合センター運営審議会委員の委嘱について」一括して説明を求める</p> |
| 渡邊生涯学習課長補佐 | <p>—「議案第3号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」、「議案第4号 今治市美須賀コミュニティプラザ運営審議会委員の委嘱について」、「議案第5号 今治市開発総合センター運営審議会委員の委嘱について」一括して説明—</p> |
| 小澤教育長 | <p>質疑はないか問う</p> |
| —各委員— | <p>なし</p> |

| | |
|----------|--|
| 小澤教育長 | 承認するか問う |
| —各委員— | 承認する |
| 小澤教育長 | <p><議題その他> 「その他 1 専決処分について（損害賠償額の決定及び和解について）」説明を求める</p> |
| 清水学校給食課長 | —「その他 1 専決処分について（損害賠償額の決定及び和解について）」説明— |
| 小澤教育長 | 質疑はないか問う |
| 野間委員 | いままではどちらの業者だったのですか。 |
| 清水学校給食課長 | これまでも株式会社メフォスです。 |
| 野間委員 | そうしたら日本一おいしい給食に向けての取組目標は継続という事ですね。 |
| 小澤教育長 | 他に質疑はないか問う |
| —各委員— | なし |
| 小澤教育長 | 午後 3 時20分閉会を宣す |